

第1回恵庭市市民活動支援制度審査会 結果報告

1. 審査日時 2025年4月25日（金）10時00分～13時40分

2. 場 所 市民活動センター 2階 会議室8—3

3. 審査員

委員長	市民活動コーディネーター	水野 みどり	出席
副委員長	企画振興部次長	高橋 英志	欠席
委員	総務部財務室長	山口 勝	欠席
委員	教育部次長	山口 晃弘	欠席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	高橋 正彰	出席
委員	市民活動コーディネーター	小隅 麻美	欠席
委員	市民活動コーディネーター	浅野 小百合	出席
委員	市民活動コーディネーター	中嶋 あゆみ	欠席
委員	市民活動コーディネーター	和田 光雄	欠席
委員	市民活動コーディネーター	石山 香織	出席

※欠席委員は事前の書類審査を行った

4. 申請団体及び審査結果

① 恵庭市民文芸の会（協働担当課：社会教育課）

事業名	「硫黄島を忘れてはいけない」ノンフィクション作家 酒井聰平氏講演会
事業概要	主催団体創立50周年・恵庭市民文芸51号特別企画「戦後80年・恵庭市民の戦争記憶」関連事業として、「硫黄島を忘れてはいけない」ノンフィクション作家 酒井聰平講演会を実施。
審査結果	く委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等く ・戦争を風化させない取り組みは、継続が大切だと思います。今回3回目の講演ということでトークセッションのような形もよいかと思いました。 ・素晴らしい企画だと感じました。ひとりでも多くの方に参加してもらえるようなイベントになればいいなと思って聞いておりました。 ・戦争を語り継ぐことは、戦後80年ますます重要なことと感じています。本物のジャーナリストの体験を生で聞けることは貴重な機会です。ぜひ多くの世代にアプローチして下さい。
採択	

② えこにわ（協働担当課：廃棄物管理課、脱炭素推進課）

事業名	‘えにわブルーサンタごみ拾い’を通じたゼロカーボンアクションの普及啓発
事業概要	気候変動やごみ問題が及ぼす影響を、ごみ拾いをきっかけに市民一人一人が「知る」ことから始め、「自分にできることから始めよう」と小さな行動の変化を促し、広め、市民の力でゼロカーボンシティの実現に向かう契機とする。
審査結果 採択	<p>く委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に真摯に取り組んでいて、感心します。一つ気になったのは、予算書にある大学生に払う託児料金（4,000円2名）です。学生のスキルアップの狙いもあると思います。せめて最賃はあげて欲しいです。 ・「未来の子ども達に虹のかかるきれいな海をプレゼントする」をコンセントとした本事業は、団体との連携や施設見学などの工夫した取組を通して、ごみの現状を理解することにつながる事業であると考えます。これまでの成果を捉えて周知方法を見直すなど、取組の工夫が見られます。引き続き、関係機関や理解者を増やし、さらに充実・発展されることを期待します。 ・事業継続には、当該補助金以外の収入確保が課題と思われます。 ・市や教育委員会から後援許可をもらって信用力アップを図るとともに、商工会議所や社協などの公的団体や各企業に対し、SDG'sに絡めた事業として、活動内容を紹介して理解を得られたら、会員や協賛企業になっていただくななど、安定財源の確保に努めて下さい。また、引き続き、ホームページの閲覧数が増加するように努めて下さい。 ・市民レベルでゼロカーボンを推進することに意義あり。但し、ホームページ管理料は？ ・気候が年々変動しているにも関わらず、まだまだ自分の行動（ゴミ）とのつながりを意識している人は少ないと思います。このような活動が、恵庭のゼロカーボン、そして地球について考える大切なきっかけになると思います。 ・ワークショップを通して、廃棄物を識ることは理解度を深める手法として評価する。 ・身近な生活から地球規模の環境を考える上でゴミのことは大切なテーマです。子供から大人まで自分事と考え意識付けができる活動だと思います。文教大生も協力できるのは良いと思います。

③ NPO 法人おはな（協働担当課：福祉課）

事業名	居場所づくり Ohana つながりサポート事業
事業概要	多様な「居場所」を提供し、地域全体で支え合う仕組みを築くことを目的とする。障がいの有無や年齢、背景を問わず、誰でも参加できる居場所を複数設けることで、人と人のつながりを深め、安心して過ごせる場を提供する。
審査結果 採択	<p>＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“いつも、そこにある”という居場所。たくさんの人を救っていると思います。いずれは、市の助成金対象となることを願います。 ・人は一人では生きられない。他者との関り合いの中で人間らしい生活、暮らしがある。障害者、健常者に、老若男女に関わらず自分の家、部屋の外に居場所が必要。いい事業です。 ・いつも、素敵な活動に頭が下がります。おはなさん達の作ったつながりで、助けられている方が沢山いらっしゃると思います。応援しております。 ・重層的支援は必要不可欠で、色々な悩みを抱えている人はたくさんいらっしゃるので、このような活動は市をあげてバックアップしてほしいです。

④ 恵庭市フラワーマスター協議会/恵庭花のまちづくり推進会議（協働担当課：花と緑・観光課）

事業名	「はなふる」での庭づくり講習会開催事業
事業概要	「暮らしを恵む庭」の通年管理を利用し、庭の管理技術についての講習を行う。また、テーマを絞った単発の講習会を4回開催する。
審査結果 採択	<p>＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴団体の活動により花のまちが作られてきました。助成は今回で最後ですが、今後も違う形で事業を続けて下さい。 ・「はなふる」内の庭園を利用して講習会を開催し、市民に花に関する技術取得を通して一般住宅に花のまちづくりを浸透させる取組は大変意義のある取組です。引き続き、担当課や関係機関との連携はもとより、貴団体の活動実績をより多くの市民に周知し、本事業の充実・発展されることを期待します。 ・恵庭市の目指す「花のまちづくり」に大いに寄与する事業であり、ガーデニングに興味のある方々の交流や今後の花のまちを支える人材発掘も期待できる事業であると思います。 ・また、参加費も大きな負担にならない程度を徴収し、各団体の自己資金も投入していることから、現時点では、自主自立性に問題ないと思いますが、補助終了後の事業継続に向けて、さらなる財源の確保策を検討願います。 ・花のまちづくりを進める恵庭市にとって、担当課において、直接補助金についても検討してよい事業ではないかと思います。 ・花のまちづくりを下支えする活動として評価します。 ・恵庭の中心となるガーデンで、お庭を学べることは非常にワクワクする企画と感じます。恵庭の景観へのモチベーションが市民にも伝わるイベントだと思います。 ・講習によるスキル取得を行ない、資格者（フラワーマスター）を増やしており、事業成果を示している。 ・花の街「恵庭」が、はなふるを中心に市の内外に浸透し、それがメインスタッフひきいる市民参加によって支えられていることに大きな意義を感じます。花の街を維持、拡大する活動を続けて下さい。

⑤ やさしい日本語教室 in ENIWA実行委員会（協働担当課：企画課）

事業名	やさしい日本語教室 in ENIWA
事業概要	恵庭に暮らす外国人は年々増えているが、地域との繋がりが薄く困りごとを相談する場もなく、日本文化に接する機会もない、隣近所とも接点がないという人もいる。同じ恵庭市民としてその垣根を少しでも低くする取り組みを行う。
審査結果	申請団体の諸般の事情により取下げ
取下げ	

⑥ 恵庭ヨガフェス実行委員会（協働担当課：健康スポーツ課）

事業名	恵庭ヨガフェス
事業概要	イベントを通じた地域貢献（運動療法、健康増進、地域振興）。新しいお祭りの創出。恵庭市内及び近郊にあるお店を紹介することによる地域振興。
審査結果	・委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等 ・昨年の来場者が 230 名とあり、恵庭のまちの活性事業となっている。本年度も健康増進のため、がんばって下さい。 ・イベントを通じて、ヨガ人口の拡大を図るほか、市民の健康増進や、さらには、物販ブースを設置するなど地域振興も目的とする事業です。回を重ねるごとに参加者数が増加しており、今後も事業継続により関係機関や理解者を増やし、さらに充実・発展されることを期待します。 ・チケット代金（レッスン料）、出店料、協賛金を徴収しており、自主自立性の高い事業だと思います。 ・資料からは、どなたが講師なのか分かりませんが、市の補助事業となることから、主催団体の構成員や関係者への収入にならないようにして下さい。また、レッスン料の 6 割が講師料ですが、講師料が一部の方に偏ったり、特定の個人への収益性が強くならないようにするとともに、極力参加者の負担を減らすように努めて下さい。 尚、団体の構成員を受取人とする謝礼やアルバイト等の人物費は対象外経費なので、十分注意して下さい。 ・実行力のある団体と認められます。 ・花、本がある町に、ヨガがあるのは、とても魅力的です。市民の健康促進にもつながると感じます。長く続くイベントになればステキだと思います。 ・本事業を実施するにあたり、イベントを活用して行うことは、啓発するのに適切である。（参加者をできる限り、増やすこととなる） ・健康増進にヨガはとても手軽で役く立つ健康法ですが、どうしても女性がメインになりがちだし、なかなか敷居が高いイメージです。老若男女が集える雰囲気作りに工夫がほしいところです。
採択	